

中学部の教育課程

1 中学部の教育目標

- (1) 健康に留意し、丈夫な体を作る。(元気な生徒)
- (2) 自分の力で身の回りのことができるようにする。(自分のことは自分でできる生徒)
- (3) 明るく情操豊かな心を育てる。(明るく思いやりのある生徒)
- (4) 自分で考えて行動し、最後まで頑張り抜く力を育てる。(最後まで頑張る生徒)
- (5) 社会生活への関心を深め、積極的に活動する態度を育てる。(助け合い、協力する生徒)

2 教育課程の編成方針

- (1) 各教科等を合わせた指導を主軸に教育課程を編成し、生きる力を高め、自立し社会参加・貢献のできる生徒の育成を目指す。
- (2) 長期的な視野に立ち、本人、保護者の願いを反映させ、一人一人のニーズに応じた「個別の教育支援計画」を作成する。
- (3) 「個別の教育支援計画」に基づき、個別の指導計画を作成し、個に応じた指導体制の充実がはかれるようにする。
- (4) 幼稚部、小学部、高等部と連携を密にし、一貫した教育課程を編成する。
- (5) 進路指導については、幼・小学部、高等部との連携を密にし継続的に指導する。
- (6) 交流及び共同学習を推進し、他校や地域との交流を図る。
- (7) 指導内容は体験的内容を多く取り入れるように努める。
- (8) 自立し、社会参加するための望ましい態度と考え方の育成を目指し、教育活動全体を通して道徳の指導を行う。
- (9) 体力の向上及び健康の保持増進に努め、健康で安全な生活を送るための基礎を培う。
- (10) 自立活動は教育活動全体を通して指導するとともに、生徒の実態に応じて時間を設定した指導を行い、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善し、心身の調和的発達を促進する。
- (11) 性教育については、生徒の身体的・生理的発達を踏まえ、学校生活全般を通して適切な指導を行う。
- (12) 総合的な学習の時間の充実をはかる。
- (13) 外国語活動を通して、文化や言語に対する興味を深め積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の基礎を養う。

3 各教科、各領域の指導の重点

(1) 各教科

①国語

- ・日常生活や地域社会において、人の話を聞き、およその内容が分かるようにする。
- ・見たり聞いたりしたりしたことや、気持ちを伝える力を伸ばす。
- ・文字に関心を持たせ、簡単な語や文の書く力を伸ばす。

②社会（各教科等を合わせた指導の中で行う）

- ・社会の中での相互協力と、規範遵守に関すること。
- ・生活に関係の深い公共施設等の適切な利用に関すること。

③数学

- ・加法、減法など、式を利用した簡単な計算ができるよう指導する。
- ・長さ、重さなどの単位について指導する。
- ・定規の使い方を指導する。
- ・金銭や時計、暦などの正しい使い方を指導する。

④理科（各教科等を合わせた指導の中で行う）

- ・自然を愛する心を育て、自然の事物・現象と日常生活との関わりについて指導する。

⑤音楽

- ・生活を明るく楽しいものにする上で必要な内容。（表現・鑑賞活動）

⑥美術

- ・のびのびと自己表現を楽しむ活動。
- ・簡単な道具を安全に使う活動。
- ・友だちとの作品を見て、良いところを見つける活動。

- ⑦保健体育
 - ・体づくり運動、簡単なスポーツ、ダンスなどの運動をする。
 - ・きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力して安全に運動をする。
 - ・自分の発育、発達に関心をもったり、健康、安全に関する初歩的な事柄を理解したりする。
- ⑧職業・家庭(各教科等を合わせた指導で行う)
 - ・作物の栽培や基礎的な調理・被服の作業や実習を通して、働く喜びを味わわせる。

(2) 各領域

- ①道徳

集団生活の中で、力強く正しく生きようとする意欲を高めるとともに、それに必要な道徳的判断力を身につける。
- ②特別活動

集団生活の中で経験を深めることにより、生徒個々の自発性や可能性を伸ばし、望ましい人間関係や社会性を育てる。
- ③自立活動

生徒一人一人が自立した活動を行えるように自己認識、環境の認知、身辺処理、移動、歩行、コミュニケーション活動、作業等における障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服し心身の調和的発達を促す。

 - 1 健康の保持・・・健康を保持し、体力の向上を図る。
 - 2 心理的な安定・・・情緒の安定を図り、落ち着いて学校生活ができるようにする。
 - 3 人間関係の形成・自己を理解し、周りの人との協力を通して集団活動に参加できるようにする。
 - 4 環境の把握・・・生徒一人一人が環境を認識し、行動ができるようにする。
 - 5 身体の動き・・・日常生活に必要な基本的能力を習得できるようにする。
 - 6 コミュニケーション・・・生徒個々の表現で意見交換ができる能力を身につけるようにする。

(3) 各教科等を合わせた指導

- ①日常生活の指導
 - ・日常生活に必要な基本的生活習慣の形成を図る。
 - ・豊かな社会生活を送るために、集団生活を通して基本的な知識や技能を身につける。
- ②生活単元学習
 - ・生活に基づいた学習活動を通して、積極的に取り組む態度を養う。
 - ・生活上の課題を解決するために、様々な生活経験を通して、社会生活に適応できる基本的な能力と態度を身につける。
- ③作業学習
 - ・安全に気をつけて作業活動に取り組む態度を身につける。
 - ・作業活動を通して働く意欲、基礎的な技能や生活をする力を育て、進んで社会参加していく態度を養う。

(4) 総合的な学習の時間

- ①生徒の興味・関心等に基づき主体的且つ創意工夫を生かした学習を行う。
- ②校内における実習・交流学习などの体験を通して、集団の中で協力し合い、課題解決しようとする力を育てる。

4 生徒指導の重点

家庭や地域との連携を密にし、個々の生徒の発達段階や障害の状態等に応じて、将来自立できる知識、態度を育てる。

5 健康・安全教育の重点

生命尊重の精神にのっとり、健康で安全な生活を送るために必要な行動がとることができるようにする。

- (1) 教育活動全体を通して行う。
- (2) 健康の保持増進に努める。(健康診断等の活用、身体・衣服等の清潔、病気予防)

- (3) 自力通学生徒に対して、登下校時に交通安全指導を行う。
- (4) 特設授業を設けて指導する（交通安全指導）
- (5) 行事を通して指導する。（避難訓練、校外学習、修学旅行等）

6 キャリア教育の重点

- (1) 教育活動全般を通して、生徒の資質・能力をできる限り引き出し、円滑に社会参加できるようにする。
- (2) 作業学習や校内における実習を通して、最後まで頑張る態度、働く楽しさや意欲を養う。

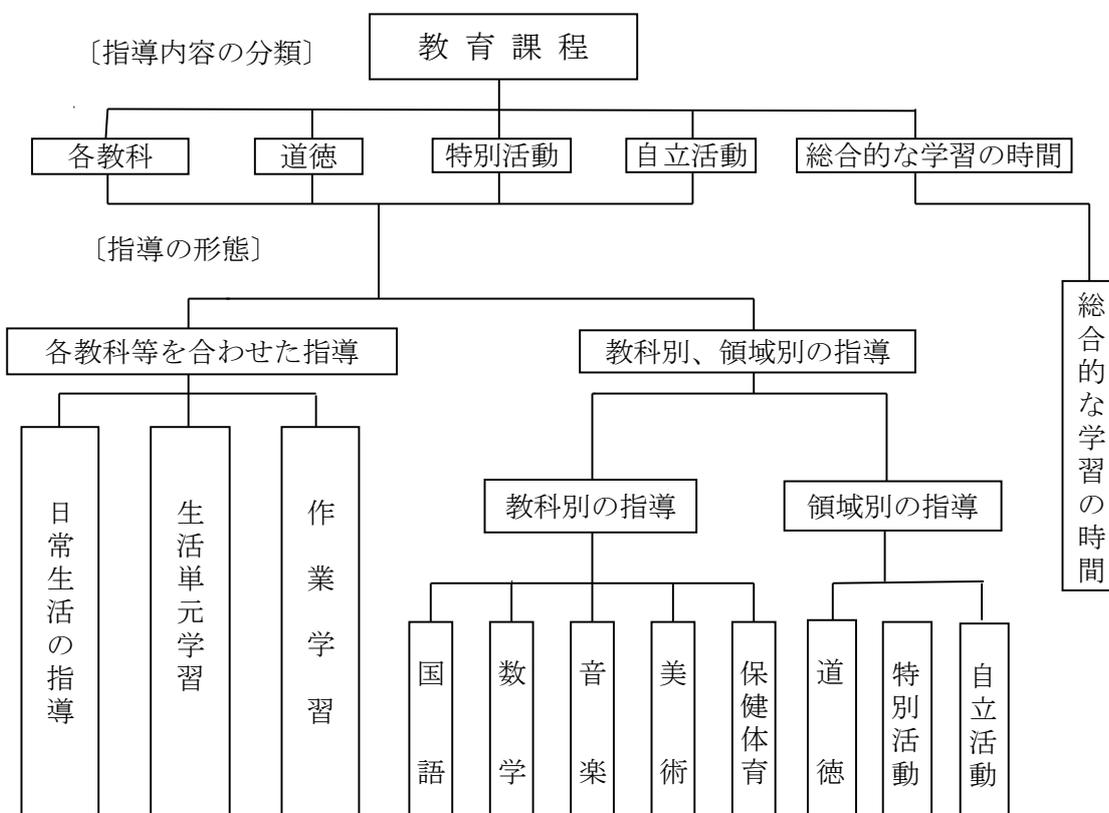
7 交流及び共同学習の重点

- (1) 近隣校及び他校の同世代の仲間達との交流を通して、豊かな人間関係を育てる。
- (2) 地域に住む人々との交流を深め、地域に関心を持ち、社会性を養う。

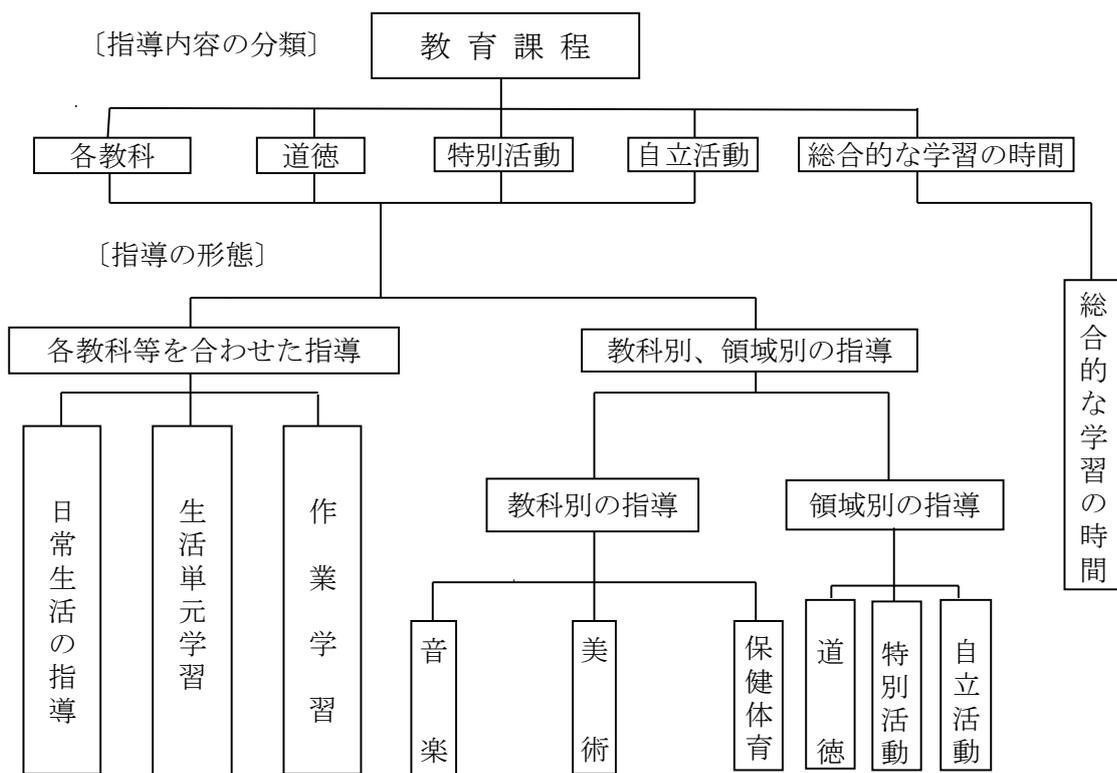
8 指導形態

- (1) 教育課程の構造

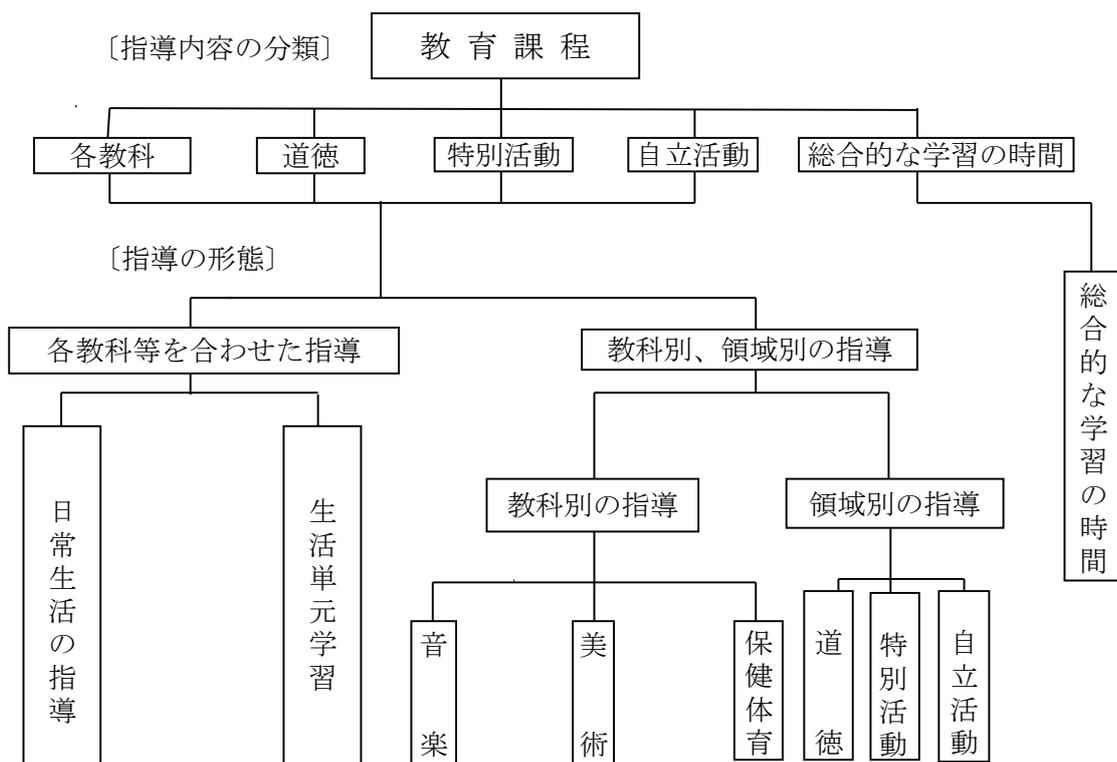
① I 類型



②Ⅱ類型



③Ⅲ類型



(2) 留意点

- ①生徒の実態に応じて各教科等を合わせた指導を主軸に行う。
- ②教科別指導の中で国語、数学、音楽、美術、体育は実態に応じたグループを編成し指導する。
- ③各教科等を合わせた指導は単元によって、学級、学年、学部全体で学習する。ただし作業学習は、実態に応じたグループを編成し指導する。
- ④道徳の時間は特設せずに教育活動全体を通して行う。
- ⑤自立活動は生徒の実態に応じて、自立活動の時間と教育活動全体を通して指導する。

9 年間授業日数・授業時数・日課表

(1) 年間授業日数配当表

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1年	16	20	20	14	0	20	22	19	17	18	19	17	202
2年	17	20	20	14	0	20	22	19	17	18	19	17	203
3年	17	20	20	14	0	20	22	19	17	18	19	14	200
備考	1年生は一学期の始業式が1日欠、3年生は卒業式以降3日欠												